

# 藤島民報

2018年 8月 5日

第1162号

編集発行  
日本共産党藤島支部

生活相談所  
加藤鉦一（宝徳）  
Tel.0235-64-3941  
携帯090-8929-4221  
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いしています。民報配布者にご連絡下さい  
（月177円程度）  
7月 34人 42,532円  
6月 37人 40,740円

## 8/5（日）第36回ふじしま夏まつり 会場：藤島体育館北側 芝生広場

子ども相撲大会	AM9:00~PM0:30 藤島小学校相撲場
魚つかみ捕り	PM1:30~2:30
第28回焼肉フェスティバル	PM4:00~7:00
第17回庄内伝統芸能祭 第1部未来への息吹	PM4:00~5:40 出演予定 PM4:00~ こりす保育園獅子踊り PM4:15~ 消防団梯子乗り・纏振り PM4:30~ 藤島児童館稲魂太鼓 PM4:45~ 烈風獅子しゃん PM5:00~ 藤島中学校吹奏楽部 PM5:15~ 東栄小学校獅子踊り PM5:30~ 渡前小学校こども獅子
庄内伝統芸能祭 第2部伝統の鼓動	PM5:50~7:30 出演予定 PM5:50~ 【藤島】八色木獅子踊り PM6:05~ 【藤島】古郡神楽 PM6:20~ 【鶴岡】由良八乙女太鼓（初） PM6:35~ 【温海】禎代ワッパ舞（初） PM6:50~ 【藤島】東堀越獅子踊り PM7:05~ 【宮城県栗原市】清水目鹿踊（10年ぶり2回目）
盆踊り大会	PM7:30~8:00
出店・屋台	PM:0:00~8:00
新企画	PM1:30~4:00 うちわづくりワークショップ PM2:30~3:30 ライブステージ PM3:00~ 宝くじ抽選会



JA庄内たがわの産直施設「んめ農マルシェ」テープカットされオープン。  
JAの生産者230人を会員に地元の野菜や果物、農産加工品、全国の提携JAの農産物を並べる。（写真提供：JA庄内たがわ広報）

### 「んめ農マルシェ」オープン 庄内おばこの里こまぎ（日枝）に JA庄内たがわ初の産直施設

JA庄内たがわ（黒井徳夫組合長）は30日、初の産直施設「んめ農マルシェ」を鶴岡市日枝の「庄内おばこの里こまぎ」にオープンしました。

「んめ農マルシェ」（小野寺儀一支配人）は、JA鶴岡「産直こまぎ」（豊栄商事）が今年5月末で閉店したことから同場所開設。広さ約330平方メートル。庄内弁の「んめ（おいしい）」という方言に「農」を加えて命名されました。2017度から園芸販売高40億円に向けた支援事業を掲げ、産直施設の立ち上げで、地元消費者への特産物のPRと農家手取りの最大化を目指します。

一方、JA鶴岡では「産直館」をリニューアルし、名称を「もんとあくる」に改め、21日にオープンしました（「山ほごある」という意味の庄内弁）。

### 【絵を描く】 風景画と木

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

風景画には木が描かれていて多い。「遠くの森と近くの立木」のように遠近感を表したり、リアル感や緊張感を醸し出しているようだ。

木を描くのは易しいようで難しい。杉や松などの常緑樹もそうだが、桜や梅、樺などが、落葉樹は形だけではなくその装いや色合いも千変万化である。早春の明るい緑から夏の濃緑、秋の紅黄色や朽ち葉色、そして冬は素つ裸になってそれぞれの木の個性を丸出しにする。

木の枝ぶりもおもしろい。角を折って直線的に伸びるものや曲がりくねるものなど様々。木の肌も木によって違う。桜の木肌は横に筋が刻まれるのに杉は皮が層をなして縦に走る。

ある古刹の庭に立つ老松を見て驚いた。大人の足の裏ほどもある大きくて分厚い皮が木の周りに一面に張り付いてあった。

温帯雨林地帯にあるわが国には森林が多い。大山地区の高館山のふ

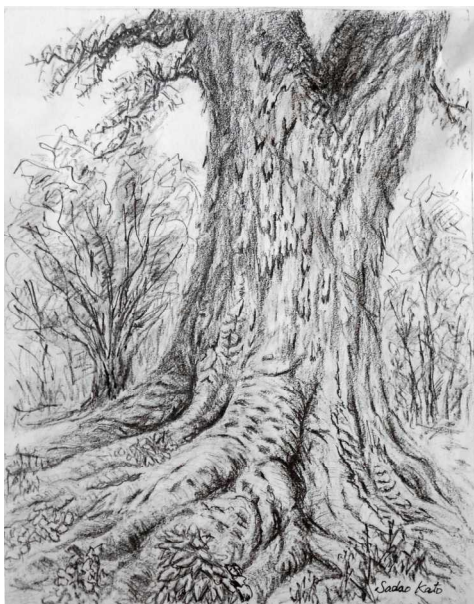
もとは広大な森林で覆われ、その中にラムサール条約に登録の池がある。その下池の周りを散策するのが大好きだ。針葉樹や広葉樹の入り混じった繁みのトネルの中を一時間余り、上り下りの山道を森林浴に浸りながら快い汗と疲れを覚えながら歩く。

森は人の心を癒やし、体を鍛えてくれる。そんな森の姿をスケッチしに絵の仲間とよく訪れた。

ところで、木が最も強烈な印象を私に与えてくれるのが鶴岡の山王神社の境内にある樺の木だ。天を覆う枝葉の広がり、その幹の太さ、長年の風雪に耐えてきて負う無数の傷跡の肌、苔に包まれて伸びる太い根など々。

写生をしながら受けるその生命力に圧倒される。近くに草木塔と祠が建っている。信仰の対象となつてるのが頷かれる。

（記録には、樹齢330年、樹の高さ20メートル、幹の周り6メートルとある。）  
※絵は山王神社のケヤキの幹と根。



樽の底

滅法暑いですね。民報藤島の親愛なる読者の皆さん、暑中お見舞い申し上げます。毎年同じではないけれど、梅雨が終わって真夏の太陽が照りつける晴天が続くと、多くの人間が暑さに参ってしまいます。

農作物の成長にも大きな影響が出ます。水稲は用水の水不足が心配され、農家の間では「水分け」がされているようですが、稲はこの好天で元気洗刺(はらまつ)9月の豊作が今から約束されています。

でも他の作物は乾燥による大きなダメージを受けるのでしょね。今夏のような早天は、過去にもあったわけだが、私の母は「樽の底が抜けたような激しい大雨が降ってくれ」と必ずぼやいていた。

多くの人に「こんな譬喩(ひゆ)を使ったことがあるか」と尋ねると大方は知らないと言う。

余目(とどろき)廿六木の造り酒屋に生まれ、嫁いだ相手が大川渡。庄農高の教師をやりながら、ハム、ソーセージ製造のパイオニアである鎌倉ハムに弟子入りした。自立して創業。大川渡では交通不便ゆえ旧鶴岡市三日町の鈴木醤油工場の敷地の一部を借りて、大川渡の物置小屋を解体して移転した。

鈴木醤油店の女性経営者は武雄の父甚左衛門の妹である。

ハムの製造工場と製

品を売る売店、2階は両親と私の3人家族の居間。

昭和9年移転し、翌年10年に弟、13年には妹がこの場所で生まれた。

醤油、味噌の製造には樽はなくてはならない必需品。再び母の周りは「樽・たる・タル」。



「樽底の抜けたような」という表現は私の母、いつ子の造語かも知れない。

「くしびき夏まつり2018」地域住民交流イベントがアガーデンが27日(金)、市榊引総合運動公園特設会場で盛大に開催されました。主催はJA庄内たがわ榊引支所・出羽商工会榊引支所・榊引観光協会・榊引工業団地振興会、鶴岡市・榊引町商業協同組合・田川建労働榊引支部が共催。



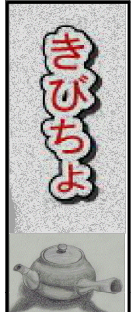
日本人と憲法 NHK世論調査から考える④ 九条に自衛隊を明記することは…

一 あらためて憲法を学ぶ 青山崇

賛成31%、反対23%、どちらともいえない40%とでるが、2013年の改正の要・不要調査は、要が大きく上回っている(要42%。不要16%)。しかし女性は、反対25%が賛成20%をわずかに上回っている。しかし、どちらともいえないが48%で、これは年代別でも、40代以下はすべて40%を超えている。改正の賛否

改定し「前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない」とし、自衛の名で何時でもどこでも戦争できる道をつくっている。

安倍晋三総理は、改憲派の集會に寄せたメッセージで「自衛隊が違憲かもしれない」などの議論の余地をなくす」として、憲法9条の「1項、2項は残しつつ、自衛隊を明文で書き込む」と述べた。



鶴亀祝い金 出せ

7月に入って国保税など保険税の通知が5通届いたが、皆さんは中身をどう感じましたか。俺んちは勤め人を除いた3人に届いたのは、医者に掛る分・つまり国保税2人分と後期高齢者1人で21万0500円と介護保険料3人分で26万8460円で総額が47万8960円だった。

これはざつと言つて、月4万円の社会保険料ということだ。高いか安いかと言え、当然高過ぎるぜ。つかえは自己負担もあるんだ。国保税以外は特別徴収と言つて、少ない年金から先取りするんだ。つまり国は、残りで食えと言つんだ。

守るように見せかけて巧妙に国民を欺くものである。

自衛隊が明記され「軍事力で日本を防衛する」と憲法に規定されると、軍事力一切否定のこれまでの考えに対し、法律上「後法優先」ということがあつて、新しい考えを優先して解釈することになり、9条2項が残つていても、この考えが優先し、2項の制約が自衛隊に及ばないことになるのである。

10600円の介護保険料と2万0500円の後期高齢者医療保険料が取られているんだ。年間34万円(もちろん所得は0円)の国民年金から、正に取られるんだ。収入の4分の1を超える金額だぜ。

百歳になつても消費税をとられながら。しかも、こんな額の年金でも、マクロスライドとか言う年金を減らす制度になつているんだ。どうです?これが日本の老人の扱い方の特徴を表わしているんじゃないですか。

75歳からが後期高齢者なんだから、百歳になつたら「超高齢者」ト力呼んで。年金だけで所得が0円なら無税にするなんて出来なんでしょうか。取つた税金の倍額を「鶴亀祝い金」にする方法もあるぜ。

とりあえず自由出鱈目党や、医療費の自己負担2割は考えるな。

(石川)